

ステップ1 練習①：簡単な例で考える

1 40円切手と60円切手をそれぞれ何枚か買うつもりでお金を持っていきましたが、買う枚数を反対にしまいました。

- (1) はじめ、60円切手を40円切手より1枚多く買うつもりだったとすると、お金は () 円 (余ります・不足します)。

予定	40	40	...	40	60
	60	60	...	60	60
			↓		
実際	40	40	...	40	40
	60	60	...	60	60

- (2) はじめ、60円切手を40円切手より2枚多く買うつもりだったとすると、お金は () 円 (余ります・不足します)。

- (3) はじめ、60円切手を40円切手より3枚多く買うつもりだったとすると、お金は () 円 (余ります・不足します)

- (4) はじめ、60円切手を40円切手より4枚多く買うつもりだったとすると、お金は () 円 (余ります・不足します)

- (5) はじめ、40円切手を60円切手より1枚多く買うつもりだったとすると、
お金は () 円 (余ります・不足します)
- (6) はじめ、40円切手を60円切手より2枚多く買うつもりだったとすると、
お金は () 円 (余ります・不足します)
- (7) はじめ、40円切手を60円切手より3枚多く買うつもりだったとすると、
お金は () 円 (余ります・不足します)
- (8) はじめ、40円切手を60円切手より4枚多く買うつもりだったとすると、
お金は () 円 (余ります・不足します)
- (9) お金が200円余りました。はじめに () 円切手を () 枚
多く買うつもりでした。
- (10) お金が300円足りなくなりました。はじめに () 円切手を ()
枚多く買うつもりでした。
- (11) お金が120円余りました。はじめに () 円切手を () 枚
多く買うつもりでした。

ステップ2 練習②：どちらが何個多いか求める

2

次の(1)~(5)において、はじめにA、Bどちらの商品を何個多く買うつもりでしたか。

- (1) 1個100円の商品Aと1個120円の商品Bをそれぞれ何個か買うつもりでお金を持っていきましたが、買う個数を反対にしてしまったので、お金が80円余りました。

→ 商品(A・B)を()個多く買うつもりでした。

- (2) 1個100円の商品Aと1個130円の商品Bをそれぞれ何個か買うつもりでお金を持っていきましたが、買う個数を反対にしてしまったので、お金が150円不足しました。

→ 商品(A・B)を()個多く買うつもりでした。

- (3) 1個200円の商品Aと1個120円の商品Bをそれぞれ何個か買うつもりでお金を持っていきましたが、買う個数を反対にしてしまったので、お金が400円余りました。

→ 商品(A・B)を()個多く買うつもりでした。

(4) 1個 300 円の商品 A と 1個 250 円の商品 B をそれぞれ何個か買うつもりでお金を持っていきましたが、買う個数を反対にしまったので、お金が 300 円不足しました。

→ 商品 (A・B) を () 個多く買うつもりでした。

(5) 1個 100 円の商品 A と 1個 140 円の商品 B をそれぞれ何個か買うつもりでお金を持っていきましたが、買う個数を反対にしまったので、お金が 320 円余りました。

→ 商品 (A・B) を () 個多く買うつもりでした。

(6) 1個 100 円の商品 A と 1個 110 円の商品 B をそれぞれ何個か買うつもりでお金を持っていきましたが、買う個数を反対にしまったので、お金が 120 円不足しました。

→ 商品 (A・B) を () 個多く買うつもりでした。

ステップ3 個数を求める問題① - 個数の和が分かっている問題

3 40円切手と60円切手を合わせて20枚買うつもりでお金を持っていきましたが、買う枚数を反対にしまったので、お金が80円余りました。

(1) はじめにどちらの切手を何枚多く買うつもりでしたか。

(2) はじめに40円切手と60円切手をそれぞれ何枚ずつ買うつもりでしたか。

4

60円切手と90円切手を合わせて10枚買うつもりでお金を持っていき
ましたが、買う枚数を反対にしてしまったので、お金が120円足りなく
なりました。

(1) はじめにどちらの切手を何枚多く買うつもりでしたか。

(2) はじめに60円切手と90円切手をそれぞれ何枚ずつ買うつもりでした
か。

5

A君が1本80円のえんぴつと1本100円のボールペンを合わせて10本買うために、その分のお金を持って文房具屋に行きました。注文するとき、えんぴつの本数とボールペンの本数を取り違えて注文したため、80円足りませんでした。予定ではえんぴつを何本買うつもりでしたか。

6

太郎君がりんごとみかんを合わせて12個買うために、その分のお金を持ってお店に行きました。注文するとき、りんごの数とみかんの数を取り違えて注文したため、480円余りました。りんご1個の値段はみかん1個の値段より80円高いです。予定ではりんごとみかんをそれぞれ何個ずつ買うつもりでしたか。

7

太郎君はA、B 2種類の品物を合わせて20個買いにお店に行きました。
AはBより50円高く、予定通り買うと200円不足し、買う個数を逆に
すると300円余ります。

(1) 太郎君ははじめ、どちらの品物を何個多く買う予定でしたか。

(2) 太郎君ははじめ、品物A、Bをそれぞれ何個ずつ買う予定でしたか。

8

会議場に4人がけのいすと6人がけのいすを合わせて50脚用意すると、30人が座れませんでした。そこで、4人がけと6人がけのいすの数を逆にすると、14人分の席が余りました。

(1) はじめ、4人がけのいすと6人がけのいすをそれぞれ何脚ずつ用意しましたか。

(2) 参加者は何人ですか。

9

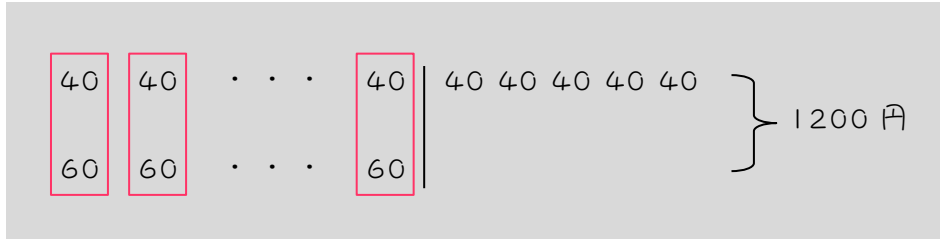
ある会議で、会議室に4人用のいすと6人用のいすをあわせて50個用意したところ、20人の出席者が座れませんでした。そこで、4人用のいすと6人用のいすの個数を逆にしたところ、席が12人分余りました

(1) はじめ、4人用のいすと6人用のいすをそれぞれ何脚ずつ用意しましたか。

(2) この会議の出席者は何人ですか。

ステップ4 練習③：金額の和と個数の差から、個数を求める

- 10 40円切手を60円切手よりも5枚多く買って、全部で1200円かかりました。40円切手と60円切手をそれぞれ何枚買いましたか。



- 11 60円切手を40円切手よりも3枚多く買って、全部で1380円かかりました。40円切手と60円切手をそれぞれ何枚買いましたか。

ステップ5 個数を求める問題② - 金額の和が分かっている問題

12

40円切手と60円切手を合わせて何枚か買うつもりで840円持っていきましたが、買う枚数を反対にしてしまったので、お金が80円余りました。

(1) はじめにどちらの切手を何枚多く買うつもりでしたか。

(2) はじめに40円切手と60円切手をそれぞれ何枚ずつ買うつもりでしたか。

13

60円切手と90円切手を合わせて何枚か買うつもりで1500円持っていきましたが、買う枚数を反対にしてしまったので、お金が150円不足しました。はじめに60円切手と90円切手をそれぞれ何枚ずつ買うつもりでしたか。

ステップ5 個数と値段を求める問題

14

りんごとみかんを合わせて20個買うつもりで1840円お金持っていきましたが、買う個数を反対にしてしまったので1760円ですみました。りんご1個の値段がみかん1個の値段よりも20円高いとき、次の問いに答えなさい。

(1) はじめ、りんごとみかんをそれぞれ何個ずつ買うつもりでしたか。

(2) りんご1個とみかん1個の値段はそれぞれ何円ですか。

15

太郎君はA、B 2種類の品物を合わせて36個買いに5000円持ってお店に行きました。AはBより35円高く、予定通り買うと340円不足し、買う個数を逆にすると80円余ります。

(1) 太郎君ははじめ、品物A、Bをそれぞれ何個ずつ買うつもりでしたか。

(2) 品物Aの1個の値段は何円ですか。

■ 解答 ■

- 1 (1) 20、余り (2) 40、余り
 (3) 60、余り (4) 80、余り
 (5) 20、不足 (6) 40、不足
 (7) 60、不足 (8) 80、不足
 (9) 60、10 (10) 40、15
 (11) 60、6
- 2 (1) B、4 (2) A、5
 (3) A、5 (4) B、6
 (5) B、8 (6) A、12
- 3 (1) 60円切手を4枚
 (2) 40円切手：8枚
 60円切手：12枚
- 4 (1) 60円切手を4枚
 (2) 60円切手：7枚
 90円切手：3枚
- 5 7本
- 6 りんご：9個 みかん：3個
- 7 (1) Aを10個
 (2) A：15個 B：5個
- 8 (1) 4人がけ：36脚
 6人がけ：14脚
 (2) 258人
- 9 (1) 4人用：33脚
 6人用：17脚
 (2) 254人
- 10 40円切手：15枚
 60円切手：10枚
- 11 40円切手：12枚
 60円切手：15枚
- 12 (1) 60円切手を4枚
 (2) 40円切手：6枚
 60円切手：10枚
- 13 60円切手：13枚
 90円切手：8枚
- 14 (1) りんご：12個 みかん：8個
 (2) りんご：100円 みかん：80円
- 15 (1) A：24個 B：12個
 (2) 160円